

東京下町 樹木探索

「芙蓉の顔」(ふようのかんばせ)



上野不忍池(蓮の花)

日が変わって8月11日木曜日、今年から新たに制定された山の日です。この頃はオリンピックも佳境に入り、体操男子団体の金メダルで日本中が沸(わ)き上がっています。今週7日には、イチローがメジャー通算3,000本安打の偉業を達成したにも関わらず、すっかりオリンピックに話題をさらわれてしまった感じです。

前回取り扱ったのは「芙蓉」(ふよう)の花でした。美人を形容するときに「芙蓉の顔」(ふようのかんばせ)と云う言い回しがありますが、この場合の芙蓉とは蓮(はす)のこと。どうも中国では蓮のことを芙蓉あるいは水芙蓉と云うようです。

ところで、蓮といえば上野不忍池(しのばずのいけ)・・・ということで、早速、池の様子を覗(のぞ)いてみたくなりました。上野へは錦糸町から都02系統の都バスで向かいます。このバスは、アメ横のある御徒町(おかちまち)や東京ドームの横を通してJR大塚駅に至る、8分から10分間隔の高頻度バス路線です。

途中、車の窓から見えるのは錦糸公園、珍しいポケモンが出没するポケモンの聖地と崇(あが)められていて、多くのポケモンマスター達がひしめいています。下車したのは上野広小路、錦糸町から20分余りのショートトリップです。

そこから上野公園の不忍池まで行ってみれば、ここもポケモンマスターで溢れています。試しにこちらスマホを取り出しポケモンGOのアイコンをクリックしてみれば、池の鯉(こい)をモチーフにしたポケモンの「コイキング」がいっぱい飛び跳ねています。

改めて弁天池を見回してみれば、蓮(はす)の花で溢れています。近年、蓮の名所は全国的に生育不良が続いていると聞いていましたが、ここでは沢山の蓮(はす)の葉が池全体を覆(おお)っています。

一方、蓮(はす)に似た植物が睡蓮(すいれん)ですが、植物学的分類では全くの異なる植物のようです。簡単な見分け方は、水を掛けるとコロコロとした水玉が葉の上で転がるのが蓮の特徴、材料工学の世界ではロータス効果と呼ばれています。

その秘密は葉の表面にある10μm程度の小さな突起で、ご飯のくっつかない杓文字(しゃもじ)の凹凸(おうとつ)も、これと同じ理屈のようです。



ポケモンGO「コイキング」



ポケモンマスター達の群れ



蓮の葉のロータス効果

東京下町 樹木探索

女神サラスヴァティーとクロード・モネ



不忍池弁天堂



女神サラスヴァティー



モネの睡蓮

せっかく不忍池までやってきたので、[弁天様](#)にお参りしてから帰ります。日本三大弁天様と云えば琵琶湖に浮かぶ竹生島(ちくぶしま)神社、江ノ島の江島神社、そして広島の[厳島\(いつくしま\)神社](#)ですが、ここ不忍池の弁天様は竹生島神社を模倣し、池を琵琶湖、中の島を竹生島に見立てて建立したのだと云う事です。

ところで、弁天様のルーツはヒンドゥー教の美人の女神「[サラスヴァティー](#)」で、聖なる川の化身とされています。そのため、元々は豊穡の実りをもたらす水の神様だったらしいのですが、琵琶(びわ)のような楽器を奏でていたことから音楽の神とされ、さらに弁舌(べんぜつ)の神ヴァーチュと同一視されたことで弁才に優れる神「弁才天」と呼ばれるようになりました。

さらに日本では、才の読みが財を連想させることから弁財天とも書かれ、音楽や弁舌などの芸能上達に加えて、金運にもご利益(りやく)のある神様と云う事になっています。しかしながら、こんなにも綺麗(きれい)な神様では、逆に、せっかく貯めたお金を全部貢(みつ)いでしまいそうです。

奇遇にも、ここ上野の山は芸術の森。国立西洋美術館を筆頭に、東京都美術館、上野の森美術館、東京藝術大学大学美術館が軒を並べ、芸術の頂点を目指してしのぎを削っています。

途中で寄り道したのが世界文化遺産に登録されたばかりの国立西洋美術館。毎月の第2、第4土曜日は常設展示が無料です。無料といってもその内容は侮(あなど)れず、モネの睡蓮にお目に掛かれます。

睡蓮の絵は、[箱根ポーラ美術館](#)や倉敷の[大原美術館](#)でも鑑賞したことがありました。どうしてあちこちにあるかと云えば、モネの睡蓮画は200点以上、日本でも28点の所在が確認されていて、よほど睡蓮、言い換えれば「日本人の感性」が気に入ったのだらうと思います。

ところで、モネの睡蓮をイメージした「睡蓮の池」があるのが西武池袋本店9階の屋上フロア。ここにある「天空のピアテラス」というビアガーデンで、なみなみに注がれた冷たいビールを一杯頂けば、気分はすっきりクロード・モネ、シル-ブ-プレ(s'il vous plaît)といった鼻に掛かる発音のフランス語が頭の中で飛び交います。